

教員活動報告（2017年1月～12月）

亀井 一郎（学長）

■論文

【総説】

亀井一郎：認知症. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:7-17.

【原著】

Misa Nakamura, Fumie Tazaki, Kazuki Nomura, Taeko Takano, Masashi Hashimoto, Hiroshi Hashizume, Ichiro Kamei : Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women in Japan. Clinical Interventions in Aging 2017, 12:1451-1457.

河野良平, 野村幸子, 徳田昭彦, 奥野祥治, 藤平保茂, 亀井一郎, 中村美砂, 宇都宮洋才：低負荷運動直前のクエン酸取得が血中乳酸値および疲労感へ及ぼす効果 —無作為化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験—. 薬理と治療 2017, 45(3):395-403.

高橋泰子, 石川健二, 木村秀生, 亀井一郎：注意課題の脳波特性 θ / β 比からみた定型閾値の有用性と PASAT の正答率からの検証. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:99-106.

■メディア

【ラジオ出演】

ラジオ健康相談, 和歌山放送, 2017年 多数.

■社会活動

【講師】

認知症について. 「新老人の会」和歌山支部, 第9回総会講演会, 和歌山ダイワロイネットホテル, 2017.5.22.

認知症になりたくない. 貝塚市認知症予防スタッフ養成講座, 貝塚市, 2017.9.14

認知症について. 不二製油株式会社研究センター定例勉強会, 不二製油株式会社, 2017.12.11.

【座長】

第7回和歌山認知症症例検討会（初級コース）. 和歌山ビッグ愛, 2017.5.25.

第8回和歌山認知症症例検討会（初級コース）. 和歌山ビッグ愛, 2017.11.16.

【学会運営】

日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 学術評議員.

日本脳神経外科認知症学会 会計幹事.

関西脳神経外科学会認知症研究会 世話人.

和歌山認知症症例検討会 代表世話人

■研究助成

田崎史江（代表）, 亀井一郎, 中村美砂, 橋本雅至, 野村和樹, 高野珠栄子：地域在住高齢者を対象とした認知症予防法の確立を目指した調査研究－認知機能と身体機能および生活習慣の関連性に着目して－. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

寺山 久美子 (副学長)

■社会活動

【座長】

第15回阪和地域リハビリテーション勉強会, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.7.15.

平成29年度第1回公開講座子育て支援室, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.10.1.

【非常勤講師】

東京都立保健科学大学 (現 首都大学東京)

【学会運営】

一般社団法人日本作業療法士協会 名誉会員.

一般社団法人大阪府作業療法士会 名誉会員.

日本リハビリテーション医学会功労会員.

日本在宅ケア学会 名誉会員.

日本作業療法士連盟 相談役.

日本生活支援工学会 名誉会員.

日本地域作業療法学研究会 相談役.

日本保健科学学会 評議員.

日本障害者リハビリテーション協会 総合リハビリテーション研究大会 常任委員.

三輪書店 雑誌「作業療法ジャーナル」編集顧問.

三輪書店 雑誌「総合リハビリテーション」編集同人.

日本障害者リハビリテーション協会 雑誌「リハビリテーション研究」編集委員.

【嘱託委員】

社会福祉法人 サンフレンズ 相談役.

日本ウエルエイジング協会 評議員.

社会福祉法人 はばたき 評議員.

共用品推進機構 評議員.

日本在宅ケア教育研究所 外部評価委員, 研究倫理審査委員.

■その他

東京都立保健科学大学 (現 首都大学東京) 名誉教授.

<理学療法学専攻>

今岡 真和

■論文

【原著】

Ueda T, Higuchi Y, Imaoka M, Todo E, Kitagawa T, Ando S : Tailored education program using home floor plans for falls prevention in discharged older patients: A pilot randomized controlled trial. Arch Gerontol Geriatr 2017, 71:9-13.

Lee S, Lee S, Bae S, Harada K, Jung S, Imaoka M, Makizako H, Doi T, Shimada H : Relationship between

chronic kidney disease without diabetes mellitus and components of frailty in community-dwelling Japanese older adults. *Geriatr Gerontol Int* 2017, doi: 10.1111/ggi.13180.

Jung S, Lee S, Lee S, Bae S, Imaoka M, Harada K, Shimada H : Relationship between physical activity levels and depressive symptoms in community-dwelling older Japanese adults. *Geriatr Gerontol Int* 2017, doi: 10.1111/ggi.13195.

■国際学会

【ポスター】

Sangyoon Lee, Hiroyuki Shimada, Sungchul Lee, Seongryu Bae, Kazuhiro Harada, Kenji Harada, Yuya Anan, Songee Jung, Masakazu Imaoka : The effects of a community-based activity program for preventing dementia in older persons with cognitive decline. Alzheimer's Association International Conference 2017, Sydney Australia, July 16 2017.

■国内学会

【一般口演】

今岡真和, 李相侖, 牧迫飛雄馬, 李成喆, 土井剛彦, 堤本広大, 中窪翔, 牧野圭太郎, 裴成琉, 鄭松伊, 島田裕之 : 軽度認知機能低下がサルコペニア有病者の新規要介護発生リスクへ与える影響 : 24 ヶ月間の前向き研究 . 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

北川智美, 樋口由美, 藤堂恵美子, 今岡真和, 上田哲也, 安藤卓, 高尾耕平, 村上達典 : 専業主婦における座業時間と健康関連 QOL 改善方法に関するランダム化比較試験による検証 . 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

上田哲也, 樋口由美, 今岡真和, 藤堂恵美子, 北川智美, 安藤卓, 高尾耕平, 村上達典, 服部玄徳 : 自宅見取り図を用いた転倒予防指導の有効性に関するランダム化比較試験 . 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

藤堂恵美子, 樋口由美, 北川智美, 今岡真和, 上田哲也, 安藤卓, 高尾耕平, 村上達典, 脇田英樹, 池内俊之 : 訪問リハビリテーションプログラムが生活機能に与える影響 . 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

高尾耕平, 樋口由美, 北川智美, 藤堂恵美子, 今岡真和, 上田哲也, 安藤卓, 村上達典, 西羅陽子, 武田広道, 藤原菜津, 有磯明泰 : 慢性期脳卒中患者における歩行の非対称性と活動との関連について . 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

今岡真和, 李相侖, 牧迫飛雄馬, 李成喆, 土井剛彦, 裴成琉, 鄭松伊, 堤本広大, 堀田亮, 島田裕之 : 低アルブミン値がサルコペニア有病者の新規要介護発生リスクへ与える影響 . 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

今岡真和, 李相侖, 牧迫飛雄馬, 李成喆, 土井剛彦, 裴成琉, 鄭松伊, 中窪翔, 牧野圭太郎, 島田裕之 : IADL とサルコペニアの関連について . 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

鄭松伊, 李相侖, 李成喆, 裴成琉, 今岡真和, 原田和弘, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 島田裕之 : 抑うつ傾向高齢者における身体活動量の性差 . 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

鄭松伊, 李相侖, 李成喆, 裴成琉, 今岡真和, 原田和弘, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 島田裕之 : 地域在住高齢者における身体活動量と抑うつ傾向との関連 . 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

中窪翔, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 牧野圭太郎, 鄭松伊, 今岡真和, 島田裕之 : 地域在住高齢者における睡眠の重要性 - MCI への移行との関連 - . 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

李相侖, 李成喆, 裴成琉, 原田健次, 鄭松伊, 今岡真和, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 島田裕之 : 大規模コホート研究による社会活動の非参加が新規要支援・要介護発生のリスクに及ぼす影響 . 第59回日本老年医学会, 名

古屋, 2017.6.14-16.

李成喆, 李相侖, 裴成琉, 土井剛彦, 原田和弘, 堀田亮, 鄭松伊, 今岡真和, 鈴木隆雄, 島田裕之: CKDにおける主観的健康感と要介護認定発生との関連. 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

裴成琉, 李相侖, 李成喆, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 鄭松伊, 今岡真和, 牧野圭太郎, 鈴木隆雄, 島田裕之: 高齢者における聴力低下と社会的活動が新規要介護発生に及ぼす影響 - 大規模コホートによる前向き調査 -. 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

牧迫飛雄馬, 島田裕之, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 裴成琉, 鄭松伊, 今岡真和: 身体的フレイル高齢者における身体活動量と要介護の新規発生, 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

牧野圭太郎, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 鄭松伊, 今岡真和, 島田裕之: 地域在住高齢者の転倒恐怖感が新規要介護発生に及ぼす影響: 転倒経験による比較. 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 裴成琉, 鄭松伊, 今岡真和, 鈴木隆雄, 島田裕之: 身体的活動と社会的活動に着目した生活範囲の評価方法. 第59回日本老年医学会, 名古屋, 2017.6.14-16.

今岡真和, 樋口由美, 藤堂恵美子, 北川智美, 上田哲也, 安藤卓: 施設入所者の骨強度低下に関連する因子の検討. 第19回日本骨粗鬆症学会, 大阪, 2017.10.20-22.

安藤卓, 樋口由美, 藤堂恵美子, 上田哲也, 北川智美, 高尾耕平, 村上達典, 田村哲也, 今岡真和: 要支援・軽度要介護者の骨密度と歩数の関係 - 標準化SOSを持ちいた検討 -. 第19回日本骨粗鬆症学会, 大阪, 2017.10.20-22.

■講演会

【招待講演】

今岡真和: 加齢医学分野における多面的介入戦略. 大阪府薬剤師会, 泉大津テクスピア大阪, 2017.12.10.

■メディア

【記事】

産経新聞 人生マスターズ, 2017.9.24.

産経新聞 人生マスターズ, 2017.11.29.

■社会活動

【講師】

加齢医学分野における多面的介入戦略. 第15回阪和地域リハビリテーション研究会, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.7.15.

ここまでわかった認知症予防♪. 認知症予防プロジェクト, 貝塚市旭住宅, 2017.7.26.

運動と栄養で健康寿命を目指す. 国立長寿医療研究センター, 愛知県高浜市, 2017.8.28.

認知症予防を目的とした運動療法の紹介. 貝塚市山手公民館, 2017.9.5,7,11.

つげさん認知症予防スタッフ養成講座. 貝塚市福社会館, 2017.9.7-28.

ここまでわかった認知症予防♪. 認知症予防プロジェクト, 貝塚市職員会館, 2017.9.27

認知症予防を目的とした運動療法の紹介. 不二製油株式会社研究センター定例勉強会, 不二製油株式会社, 2017.12.11.

【学会運営】

日本地域理学療法フォーラム, 愛知県大府市, 2017.2.9.

関西医療学園校友会 学術委員. 関西医療学園専門学校, 2017.4.1.

日本地域理学療法学会 総務部. 2016.11-2018.10.

関西医療学園校友会理学療法部会 学術委員, 2017.4-2019.3.

【嘱託委員】

日本医療研究開発機構：身体・認知的フレイルの予防方法の開発と効果検証，国立長寿医療研究センター，
2016.1.31～現在．

老人保健健康増進等事業：認知症予防についての調査研究事業（厚生労働省），国立長寿医療研究センター，
2016.4.1～現在．

■研究助成

今岡真和：貝塚市における認知症予防推進スタッフ育成スキームの構築および認知症予防教室開催，大阪河崎リ
ハビリテーション大学 学長裁量経費，2017.7-2018.9.

今岡真和：貝塚市における認知症予防事業，不二製油株式会社 奨学寄附金，2017.10-

■その他

第7回保健医療学学会 優秀演題賞．

岡 健司

■論文

【原著】

岡健司，高ノ原恭子，古井透：背もたれ角度による座位姿勢の違いが身体に及ぼす影響～座圧および嚙下音によ
る基礎的研究～．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:125-133.

中尾英俊，橋本雅至，森藤武，岡健司：成長期スポーツ傷害の腰椎分離症と非特異的腰痛のX線による腰椎アラ
イメントと可動性について．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:135-139.

■国内学会

【一般口演】

岡健司，後藤遼佑，中野良彦：シロテテナガザルの移動運動における体幹筋の活動パターン．第33回日本霊長類
学会大会，福島，2017.7.15-17.

古井透，岡健司，勝山隆：本学における車いす座位姿勢計測研究の到達点．第32回リハ工学カンファレンス，神戸，
2017.8.22.

岡健司，小森武陸：ロコモーション時における上肢運動の解析，第38回バイオメカニズム学術講演会，別府，
2017.11.4-5.

■社会活動

【学会運営】

バイオメカニズム学会誌 編集委員．

公益社団法人 大阪府理学療法士会 泉州ブロック 学術部 役員．

公益社団法人 大阪府理学療法士会 泉州ブロック 第12回新人症例発表会 運営委員（演題部）．泉佐野市，
2017.1.22.

■研究助成

岡健司（代表）：ヒトのブラキエーション動作の運動学的・筋電図学的分析．科学研究費補助金 基盤研究(C)，
2017.4-2020.3.

小西 正良

■社会活動

【非常勤講師】

解剖学生理学. 和歌山県立高等看護学院第1部看護学科, 2017.4.1-10.31.

解剖学生理学. 和歌山県立高等看護学院第2部看護学科, 2017.4.1-10.31.

解剖生理学. 河崎会看護専門学校看護第2学科, 2017.4.1-2018.1.31.

小恠 武陸

■論文

【報告】

藤平保茂, 久利彩子, 小恠武陸, 古井透: 長期臨床実習中における学生の心理的要因 - 積極的に質問するためには -. 近畿理学療法学会誌 第46号, <http://kinki56.umin.jp/cd/pdf/ippan/O8-4.pdf>

■国内学会

【一般口演】

岡健司, 小恠武陸: ロコモーション時における上肢運動の解析, 第38回バイオメカニズム学術講演会, 別府, 2017.11.4-5.

藤平保茂, 久利彩子, 小恠武陸, 古井透: 長期臨床実習における学生のやり甲斐に影響を及ぼす要因について. 第57回近畿理学療法学会, 滋賀, 2017.11.12.

■勉強会

【教育講演】

小恠武陸: 児童福祉分野での理学療法士の関わり方. 第18回精神心理領域理学療法部門セミナー, 東京, 2017.11.25.

■社会活動

【講師】

プレッシャーを楽しむ～勉強が楽しくなる脳をつくる～. 大阪中学生サマーセミナー, 貝塚市立山手地区公民館, 2017.8.3.

【非常勤講師】

情報科学. 河崎会看護専門学校看護第1学科, 2017.9-11.

物理療法学実習. 和歌山国際厚生学院, 2017.4-12.

【学会運営】

公益社団法人 日本理学療法士協会 第53回日本理学療法士学会 査読委員.

公益社団法人 大阪府理学療法士会 保健福祉局 障害者保健福祉部 部長.

日本レッドコード研究会 理事.

日本理学療法士学会 精神心理領域理学療法部門 幹事.

酒井 桂太

■著書

【共著】

酒井桂太：生活環境学 I 総論 2生活環境の評価と改善計画. pp.231-245. 鶴見隆正, 隆島研吾編集:日常生活活動学・生活環境学 第5版 医学書院, 東京, 361頁, 2017.11.

■社会活動

【学会運営】

公益社団法人日本理学療法士協会 日本理学療法教育学会 代表運営幹事

公益社団法人日本理学療法士協会 日本理学療法士学会 研究推進委員会 委員長.

【座長】

第6回日本理学療法教育学会学術集会 特別講演 臨床実習教育の変革. 名古屋, 2017.11.26.

【嘱託委員】

医学書院 雑誌「理学療法ジャーナル」編集同人.

メディカルプレス 雑誌「理学療法」編集同人.

貝塚市介護認定審査会 委員.

坪田 裕司

■社会活動

【講師】

大学院生指導, 学生実習指導. 和歌山県立医科大学学部2年生, 院生, 研究生, 第二生理学教室, 2017.4-2018.3.

運動生理学集中講義と演習. 関西総合リハビリテーション専門学校 PTOT1年生, 2017.4-2018.3.

【学会運営】

日本生理学会 評議員. 2017.4-2018.3.

関西実験動物研究会 評議員, 幹事. 2017.4-2018.3.

【座長】

関西実験動物研究会 第136回研究会, 京都大学学友会館, 2017.12.1.

【論文査読】

Experimental Animals reviewer.

Health 誌 reviewer.

【嘱託委員】

日本高等教育評価機構 大学評価員 2016.4-2019.3.

中尾 英俊

■著書

【共著】

中尾英俊, 橋本雅至:扁平足障害-足部・足関節の機能的特徴を踏まえ介入する. pp.70-84. 橋本雅至 編集, 松尾善美 監修:教科書にはない敏腕 PT のテクニック -臨床実践 足部・足関節の理学療法-. 文光堂, 東京, 179頁, 2017.5.

濱田太朗, 中尾英俊, 稲葉考洋, 高橋孝輔, 来田晃幸 他: 第3章 1. 高校部活動の支援 硬式野球部 (1) . pp.210-216. アスリートケア編集, 越智隆弘 監修: アスリートケア 理学療法士によるスポーツ選手への健康支援. 三輪書店, 東京, 359頁, 2017.10.

■論文

【原著】

Takeshi Morifuji, Hidetoshi Nakao, Takahiro Inaba, Kenji Kasubuchi, Masashi Hashimoto, Motoharu Kaneko : Side-to-side differences in range of motion, muscle strength, and medial elbow laxity in young baseball players with medial elbow injuries. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 2017, 6(4):233-239.

中尾英俊, 橋本雅至, 森藤武, 岡健司: 成長期スポーツ傷害の腰椎分離症と非特異的腰痛のX線による腰椎アラメントと可動性について. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:135-139.

木下和昭, 橋本雅至, 中尾英俊, 大槻伸吾: 高校男子サッカー選手における体幹荷重支持機能とブリッジ姿勢保持の特徴～利き脚側と非利き脚側での比較～. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 2017, 37(2):38-41.

■国内学会

【一般口演】

木下和昭, 橋本雅至, 中尾英俊, 田頭悟志, 大槻伸吾: 片側の体幹の荷重支持機能の向上が動作に与える効果. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

【ポスター】

中尾英俊, 濱田太朗, 木下和昭, 稲葉考洋, 森藤武, 橋本雅至, 大槻伸吾: 高校野球選手の腰痛症に対する体幹・股関節筋力トレーニングの効果について. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017.9.16-18.

■勉強会

【招待講演】

中尾英俊: 腰部スポーツ障害. Sports Performance Innovation 勉強会. 南草津野村整形外科, 2017.5.20.

中尾英俊: プライマリ・ケア. 社団法人アスリートケア ワークショップ. 大阪電気通信大学, 2017.7.9.

中尾英俊: 療法士からみた姿勢・動作. 大阪臨床整形外科医会療法士会 第18回技術講習会講師, 大阪医療福祉専門学校, 2017.11.23.

■社会活動

【講師】

福井工大福井高校 硬式野球部トレーナー (1回/月), 福井工大福井高校, 2017年度.

■研究助成

森藤武(代表), 橋本雅至, 中尾英俊: ストレッチングが運動習慣のない骨関節疾患を有する高齢者の動脈ステイックネスに及ぼす影響. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

中村 美砂

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Hiroshi Hashizume, Sachiko Nomura, Ryohei Kono, Hirotohi Utsunomiya : The relationship between locomotive syndrome and depression in community-dwelling elderly people. Current Gerontology and Geriatrics Research 2017, 4104802, 6 pages.

Misa Nakamura, Fumie Tazaki, Kazuki Nomura, Taeko Takano, Masashi Hashimoto, Hiroshi Hashizume, Ichiro Kamei : Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women in Japan. *Clinical Interventions in Aging* 2017, 12:1451-1457.

河野良平, 野村幸子, 徳田昭彦, 奥野祥治, 藤平保茂, 亀井一郎, 中村美砂, 宇都宮洋才 : 低負荷運動直前のクエン酸摂取が血中乳酸値および疲労感へ及ぼす効果－無作為化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験－. *薬理と治療* 2017, 45(3):395-403.

■国内学会

【一般口演】

中村美砂, 野村幸子, 河野良平, 橋爪洋, 宇都宮洋才 : ロコモティブシンドロームと抑うつ傾向との関連性について. 第31回日本体力医学会近畿地方会, 和歌山, 2017.3.18.

高尾亮子, 北見彰啓, 野村幸子, 河野良平, 中津川桃子, 島津由香里, 高倉綾, 磯谷幸宏, 宇都宮洋才, 中村美砂 : 2型糖尿病モデルラットにおいて種々の骨粗鬆症治療薬が及ぼす骨組織形態変化の比較. 第37回日本骨形態計測学会, 大阪, 2017.6.22-24.

高野珠栄子, 田崎史江, 野口貴斗, 野村和樹, 中村美砂 : 認知症予防プログラム確立の為の調査—認知機能と手指機能との関係性—. 第18回日本早期認知症学会学術大会, 東京, 2017.10.14-15.

【ポスター】

田崎史江, 野村和樹, 高野珠栄子, 中村美砂 : 地域在住高齢者の園芸習慣と体組成や認知機能の傾向. 人間・植物関係学会 2017年大会, 秋田, 2017.6.24-25.

中村美砂, 田崎史江, 高野珠栄子, 野村和樹 : 地域在住高齢者の認知機能とロコモティブシンドロームとの関係. 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

藤平保茂, 鈴木美里, 中村美砂 : 足浴と手浴における体温、血圧、脈拍変化の違い. 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

河野良平, 野村幸子, 奥野祥治, 鍵弥朋子, 中村美砂, 宇都宮洋才 : 山椒の抗アレルギー効果. 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

野村幸子, 北見彰啓, 高尾亮子, 島津由香里, 下村綾, 磯谷幸宏, 河野良平, 前野覚大, 田中浩美, 鶴澤豊暢, 宇都宮洋才, 中村美砂 : 2型糖尿病モデル雄ラットにおける膵臓及び肝臓の病態解析. 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

■メディア

【記事】

「注目！女性のみかた『梅』パワー」日経ヘルス 2017年2月号 No.227, pp136-138.

「大学の女子力」産経新聞, 2017.2.16.

■社会活動

【講師】

認知症予防プロジェクト調査結果のフィードバック講座. 貝塚市旭住宅, 2017.8.9.

認知症予防プロジェクト調査結果のフィードバック講座. 貝塚市職員会館, 2017.9.27.

【非常勤講師】

病理学. 河崎会看護専門学校看護第1学科, 2017.11-12.

【座長】

第24回日本未病システム学会学術総会, 横浜, 2017.11.4-5.

【学会運営】

Journal of Basic and Clinical Medicine Editorial board member.

World Journal of Experimental Medicine Editorial board member.

日本病理学会 評議委員.

日本内分泌学会 評議委員.

日本内分泌病理学会 評議委員.

【論文査読】

Physical Therapy and Rehabilitation (2017年1月)

Osteoporosis International (2017年6月)

Journal of Nutritional Medicine and Diet Care (2017年6月)

Clinical Interventions in Aging (2017年7月)

Cancer Management and Research (2017年10月)

■研究助成

中村美砂: 運動機能から見た認知症予防法の確立を目指した地域調査研究. 大阪河崎リハビリテーション大学
学長裁量経費, 2016.4-2017.3.

田崎史江 (代表), 亀井一郎, 中村美砂, 橋本雅至, 野村和樹, 高野珠栄子: 地域在住高齢者を対象とした認知症
予防法の確立を目指した調査研究 - 認知機能と身体機能および生活習慣の関連性に着目して -. 大阪河崎リハ
ビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

橋本 雅至

■著書

【共著】

橋本雅至 編集, 松尾善美 監修: 教科書にはない敏腕 PT のテクニック - 臨床実践 足部・足関節の理学療法 -.
文光堂, 東京, 179 頁, 2017.5.

井上直人, 橋本雅至, 高本晴輝, 田頭悟志, 木下和昭: 第3章 3, 高校部活動の支援 サッカー部. pp.224-237. アス
リートケア編集, 越智隆弘 監修: アスリートケア 理学療法士によるスポーツ選手への健康支援. 三輪書店, 東
京, 359 頁, 2017.10.

■論文

【原著】

Kazuaki Kinoshita, Kazunari Ishida, Masashi Hashimoto, YuKi Yoneda, Yuta NaKa, Hideyuki Kitanishi, Hiroki
Oyagi, Yuichi Hoshino, Masahiro Kurosaka, Nao Shibamura : Relationship between trunk function evaluated
using the trunk righting test and physical function in patients with knee osteoarthritis. J. Phys. Ther. Sci
2017, 29:996-1000.

Misa Nakamura, Fumie Tazaki, Kazuki Nomura, Taeko Takano, Masashi Hashimoto, Hiroshi Hashizume, Ichiro
Kamei : Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women
in Japan. Clinical Interventions in Aging 2017, 12:1451-1457.

Takeshi Morifuji, Hidetoshi Nakao, Takahiro Inaba, Kenji Kasubuchi, Masashi Hashimoto, Motoharu Kaneko:

Side-to-side differences in range of motion, muscle strength, and medial elbow laxity in young baseball players with medial elbow injuries. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 2017, 6(4):233-239.

植田篤史, 橋本雅至, 木下和昭, 小島喜義, 衛門良幸, 井上直人, 大槻伸吾: 投球障害肘を有する小学生野球選手の肩関節可動域の特徴. 日本臨床スポーツ医学会誌 2017, 25(3):454-457.

木下和昭, 中川泰彰, 向井章悟, 佐治隆彦, 藪本浩光, 井上直人, 伊藤春盛, 橋本雅至, 大槻伸吾: 野球経験年数が肩関節回旋可動域に及ぼす影響—小中学生における検討—. JOSKAS 2017, 42:493-498.

木下和昭, 橋本雅至, 中尾英俊, 大槻伸吾: 高校男子サッカー選手における体幹荷重支持機能とブリッジ姿勢保持の特徴～利き脚側と非利き脚側での比較～. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 2017, 37(2):150-153.

中尾英俊, 橋本雅至, 森藤武, 岡健司: 成長期スポーツ傷害の腰椎分離症と非特異的腰痛のX線による腰椎アラメントと可動性について. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:135-139.

藤高紘平, 藤竹俊輔, 来田晃幸, 岸本恵一, 橋本雅至, 大槻伸吾, 大久保衛, 熊井司, 田中康仁: 大学サッカー選手の人工芝グラウンドにおけるスポーツ傷害の経時的変化—人工芝グラウンドに対するゴムチップ補充の影響—. 関西臨床スポーツ医・科学研究会誌 2017, 25:53-55.

【解説】

橋本雅至: 動作解析を用いた機能的ウェア開発—ワコールとの共同開発—. 理学療法ジャーナル 2017, 51(11):959-962.

■国内学会

【一般口演】

木下和昭, 橋本雅至, 中尾英俊, 田頭悟志, 大槻伸吾: 片側の体幹の荷重支持機能の向上が動作に与える効果. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

高嶋厚史, 橋本雅至, 田頭悟志, 新谷健, 福本貴典, 板矢悠佑, 木下和昭, 大槻伸吾: 姿勢保持の難度別に分けた Core stability test の保持時間についての検討. 第27回関西臨床スポーツ医科学研究会, 大阪, 2017.6.17.

木下和昭, 中川泰彰, 向井章悟, 佐治隆彦, 藪本浩光, 井上直人, 伊藤盛春, 橋本雅至, 大槻伸吾: 小学生野球選手における肩関節障害発生者の肩関節可動域の特徴—1年間の縦断的検討—. 第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 札幌, 2017.6.22-24.

井上直人, 中川泰彰, 向井章悟, 藪本浩光, 新宮信之, 伊藤盛春, 橋本雅至, 木下和昭: 小学生軟式野球選手における関節可動域の経年変化と投球障害肘との関係. 第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 2017.11.18-19.

【ポスター】

木下和昭, 橋本雅至, 澳昂佑, 北川智美, 長野聖, 森永敏博, 星野祐一, 廣島和夫: 高等学校におけるスポーツ活動支援事業の利用状況とその意義. 第43回日本整形外科スポーツ医学会, 宮崎, 2017.9.8-9.

中尾英俊, 濱田太朗, 木下和昭, 稲葉考洋, 森藤武, 橋本雅至, 大槻伸吾: 高校野球選手の腰痛症に対する体幹・股関節筋力トレーニングの効果について. 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017.9.16-18.

木下和昭, 橋本雅至, 横田尚子, 澳昂佑, 来田宜幸, 星野祐一: 倒立姿勢保持における肘関節と肩甲骨周囲の筋活動～上肢の肢位の違いによる変化～. 第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 2017.11.18-19.

高嶋厚史, 橋本雅至, 田頭悟志, 福本貴典, 板矢悠佑, 木下和昭, 大槻伸吾: 姿勢保持の難度別に分けた Core stability test の筋活動についての検討. 第28回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 東京, 2017.11.18-19.

■社会活動

【講師】

リハビリテーション論. 大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学科, 2017年前期.

スポーツ医学. 四條畷学園大学リハビリテーション学部, 2017年後期.

【座長】

公益社団法人日本理学療法士協会 第5回日本運動器理学療法学会学術集会 2017.9.

【学会運営】

公益社団法人日本理学療法士協会 第5回日本運動器理学療法学会学術集会 演題審査委員.

公益社団法人大阪府理学療法士会 第29回大阪府理学療法学会学術大会 演題審査委員.

公益社団法人日本理学療法士協会 代議員.

阪神内部障害リハビリテーション研究会 世話人.

【囑託委員】

株式会社ワコール 人間科学研究所 外部研究指導員.

■研究助成

田崎史江(代表), 亀井一郎, 中村美砂, 橋本雅至, 野村和樹, 高野珠栄子: 地域在住高齢者を対象とした認知症予防法の確立を目指した調査研究-認知機能と身体機能および生活習慣の関連性に着目して-. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

森藤武(代表), 橋本雅至, 中尾英俊: ストレッチングが運動習慣のない骨関節疾患を有する高齢者の動脈ステイップネスに及ぼす影響. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

畑中 良太

■社会活動

【非常勤講師】

人間発達学. 四條畷学園大学, 2017.9.11-2018.3.31.

運動療法学(脳血管障害の理学療法), 理学療法技術論演習(小児疾患の理学療法). 平成リハビリテーション専門学校, 2017.4.1-2018.3.31.

病態学(リハビリテーション), 宝塚市立看護専門学校, 2017.4.1-9.30.

【学会運営】

公益社団法人日本理学療法士協会 総務部 副部長. 2017.7-2019.6.

久利 彩子

■論文

【原著】

久利彩子, 小西有人, 竹内直子, 吉田正樹: 低床ピドスコープの開発とその成人期以降の男女への適用一年代間および男女間における足趾接地有無の割合の差の検討一. 理学療法科学 2017, 32(1):111-116.

久利彩子, 竹内直子, 田崎史江: 片手への荷重負荷による足圧中心の位置変位について. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:119-124.

鈴木順一, 吉田正樹, 久利彩子, 永田昌美: 振動に対する受容器の反応特性評価. 日本生体医工学会誌 2017, 55(2):63-68.

【報告】

藤平保茂，久利彩子，小峯武陸，古井透：長期臨床実習中における学生の心理的要因－積極的に質問するためには－. 近畿理学療法学会誌 第46号, <http://kinki56.umin.jp/cd/pdf/ippan/O8-4.pdf>

■国内学会

【一般口演】

久利彩子，竹内直子，鈴木順一，吉田正樹：安定立位と不安定立位における足趾の評価. 第56回日本生体医工学会大会，東北大学医学部，2017.5.3-5.

竹内直子，久利彩子，吉田正樹：立位不安定前後の足圧中心位置偏差の比較. 第56回日本生体医工学会大会，東北大学医学部，2017.5.3-5.

鈴木順一，吉田正樹，久利彩子，永田昌美：閾値下振動が触知覚弁別閾におよぼす影響. 生体医工学シンポジウム2017, 信州大学, 2017.9.15-16

藤平保茂，久利彩子，小峯武陸，古井透：長期臨床実習における学生のやり甲斐に影響を及ぼす要因について. 第57回近畿理学療法学会誌，滋賀，2017.11.12.

■勉強会

【講師】

久利彩子：リハビリテーション概論「理学療法」. NPO法人園芸療法研究会西日本 日本園芸療法学会認定園芸療法講座，大阪，2017.7.29.

■社会活動

【公開講座主催】

第5回園芸福祉・園芸療法実践勉強会，大阪河崎リハビリテーション大学，2017.10.7.

【学会運営】

第15回阪和地域リハビリテーション勉強会，大阪河崎リハビリテーション大学，2017.7.15.

肥田 光正

■論文

【原著】

肥田光正，北山淳，浜岡克伺，山坂宏太：訪問リハビリテーションで痛み日記を用いた認知行動療法的アプローチが有用であった慢性腰痛の一例. 慢性疼痛 2017, 36(1):140-144.

藤平 保茂

■論文

【原著】

河野良平，野村幸子，徳田昭彦，奥野祥治，藤平保茂，亀井一郎，中村美砂，宇都宮洋才：低負荷運動直前のクエン酸取得が血中乳酸値および疲労感へ及ぼす効果—無作為化二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験—. 薬理と治療 2017, 45(3):395-403.

【報告】

藤平保茂，久利彩子，小峯武陸，古井透：長期臨床実習中における学生の心理的要因－積極的に質問するためには－. 近畿理学療法学会誌 第46号, <http://kinki56.umin.jp/cd/pdf/ippan/O8-4.pdf>

■国内学会

【会員シンポジウム】

鳥居尚之, 松下清喜, 藤平保茂: 障がい者の高齢化を視野に～本人・家族・社会の QOL 向上をめざして～. 現代 QOL 学会第 5 回学術大会, 東京, 2017.6.25.

【一般口演】

藤平保茂: QOL の維持・向上を目指す代償運動 ～ ADL 障害を対象に～. 現代 QOL 学会第 5 回学術大会, 東京, 2017.6.25.

藤平保茂, 久利彩子, 小峯武陸, 古井透: 長期臨床実習における学生のやり甲斐に影響を及ぼす要因について. 第 57 回近畿理学療法学会学術大会, 滋賀, 2017.11.12.

【ポスター】

藤平保茂, 鈴木美里, 中村美砂: 足浴と手浴における体温、血圧、脈拍変化の違い. 第 24 回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

曾根典法, 藤平保茂: パルスオキシメーターの耳クリップセンサー装着時における測定困難の際の患者特性. 第 57 回近畿理学療法学会学術大会, 滋賀, 2017.11.12.

■社会活動

【非常勤講師】

児童生徒への身体に関する課題の支援. 福祉医療関係人材（理学療法士）活用事業, 大阪府立佐野支援学校, 2017 年度.

児童生徒への身体に関する課題の支援. 福祉医療関係人材（理学療法士）活用事業, 大阪府立泉南支援学校, 2017 年度.

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第 1 学科, 2017 年度.

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第 2 学科, 2017 年度.

【委託委員】

大阪府忠岡町介護認定審査会, 2017 年度.

古井 透

■著書

【報告書】

喜多正茂, 古井透 編著: アンケート報告書 パーキンソン病患者と家族の暮らし ～今と将来～. 全国パーキンソン病友の会大阪府支部, 大阪, 67 頁, 2017.1.

■論文

【原著】

古井透, 古井正代: 認知症と支援技術の応用: 脳性まひの娘に導かれて電動車いす自立に結びついたある認知症高齢者の事例から. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:31-40.

岡健司, 高ノ原恭子, 古井透: 背もたれ角度による座位姿勢の違いが身体に及ぼす影響 ～座圧および嚙下音による基礎的研究～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:125-133.

【報告】

藤平保茂, 久利彩子, 小峯武陸, 古井透: 長期臨床実習中における学生の心理的要因 - 積極的に質問するためには -. 近畿理学療法学会学術大会誌 第 46 号, <http://kinki56.umin.jp/cd/pdf/ippan/O8-4.pdf>

■国内学会

【一般口演】

古井透, 岡健司, 勝山隆: 本学における車いす座位姿勢計測研究の到達点. 第32回リハ工学カンファレンス, 神戸, 2017.8.22.

藤平保茂, 久利彩子, 小森武隆, 古井透: 長期臨床実習における学生のやり甲斐に影響を及ぼす要因について. 第57回近畿理学療法学会, 滋賀, 2017.11.12.

■社会活動

【講師】

「私たちの内なる優生思想を問う『歩けなくなったらおしまい』老いと内なる優生思想」第3回公開市民講座, 大阪労働学校, 2017.7.29.

【座長】

全国パーキンソン病友の会 大阪府支部 シンポジウム「安心して最後まで自宅で過ごすためには」大阪市立総合生涯学習センター, 2017.2.12.

第8回座位姿勢計測セミナー「臨床でも姿勢・動作を定量的に評価しよう」座位姿勢計測研究会, りんくう総合医療センター, 2017.4.23.

【公開講座主催】

第15回阪和地域リハビリテーション勉強会, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.7.15.

【学会運営】

座位姿勢計測研究会 代表.

【ボランティア活動】

全国パーキンソン病友の会大阪府支部「いずみ会」リハビリ教室. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.1-12.

全国パーキンソン病友の会大阪府支部「忠岡つくし会」リハビリ教室. 忠岡町立総合福祉センター, 2017.1-12.

全国パーキンソン病友の会大阪府支部若年性PDの集い, 大阪市立総合生涯学習センター, 2017.2.5.

社会福祉法人 聖フランシスコ会 ふるさとの家 リハビリ相談会. 2017.1-12.

■その他

バリアフリー展 2017 大阪河崎リハビリテーション大学座位姿勢計測ブース出展. インテックス大阪, 2017.4.17-21.

インターンシップの受け入れ. 米国ジョンズホプキンス大学 公衆衛生学部学生1名, 2017.7.5-8.5.

村西 壽祥

■論文

【原著】

中野禎, 村西壽祥, 湯川晃矢: 反転型人工肩関節術後および健常肩における肩関節周囲筋の筋電図学的検討. 日本臨床バイオメカニクス 2017, 38:119-124.

■国内学会

【シンポジウム】

小藤定, 村西壽祥, 中野禎, 彼末将吾, 小倉重弥子, 湯川晃矢, 上谷佑稀, 土井還, 間中智哉, 伊藤陽一: リバース型人工肩関節全置換術後2年における肩関節機能. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

【一般口演】

湯川晃矢, 村西壽祥, 中野禎, 桑野正樹, 小藤定, 小倉亜弥子, 三上正和, 市川耕一, 間中智哉, 伊藤陽一: リバース型人工肩関節全置換術における結髪動作と肩関節機能について. 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

上谷佑稀, 中野禎, 村西壽祥, 小藤定, 小倉亜弥子, 彼末将吾, 湯川晃矢, 土井還, 間中智哉, 伊藤陽一: 肩腱板断裂術後患者のADL満足度と機能評価値のカットオフ算出. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

小倉亜弥子, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 湯川晃矢, 彼末将吾, 桑野正樹, 間中智哉, 中村博亮, 伊藤陽一: RSA術後の回転中心位置と三角筋延長率が術後機能に及ぼす影響. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

小倉亜弥子, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 湯川晃矢, 彼末将吾, 桑野正樹, 間中智哉, 中村博亮, 伊藤陽一: 剪断波エラストグラフィを用いた三角筋評価方法. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

彼末将吾, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 小倉亜弥子, 湯川晃矢, 上谷佑稀, 土井還, 間中智哉, 伊藤陽一: RSA後の術前三角筋断面積と肩関節機能およびADLとの関連性. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

桑野正樹, 村西壽祥, 中野禎, 新柁剛也, 彼末将吾, 小倉亜弥子, 湯川晃矢, 間中智哉, 伊藤陽一: リバース型人工肩関節全置換術の三角筋断面積と肩関節機能の検討. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

土井還, 中野禎, 村西壽祥, 小藤定, 彼末将吾, 小倉亜弥子, 湯川晃矢, 上谷佑稀, 間中智哉, 伊藤陽一: 肩回旋筋腱板に対するOKC・CKC ex.の比較. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

中野禎, 村西壽祥, 桑野正樹, 湯川晃矢, 上谷佑稀, 土井還, 伊藤陽一: 反転型人工肩関節と健常肩における肩関節周囲筋の筋活動の違い. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

湯川晃矢, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 小倉亜弥子, 彼末将吾, 桑野正樹, 間中智哉, 中村博亮, 伊藤陽一: Shear Wave Imagingからみた超音波療法の効果. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

湯川晃矢, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 小倉亜弥子, 彼末将吾, 桑野正樹, 間中智哉, 中村博亮, 伊藤陽一: RSA術後の肩峰-大結節間距離と肩関節機能の関連性. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

湯川晃矢, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 小倉亜弥子, 彼末将吾, 桑野正樹, 間中智哉, 中村博亮, 伊藤陽一: RSA術後症例での肩峰-大結節間距離と術後機能の男女差比較. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

矢本千佳, 村西壽祥, 中野禎, 小藤定, 小倉亜弥子, 彼末将吾, 湯川晃矢, 上谷佑稀, 土井還, 伊藤陽一: 鏡視下肩峰下除圧術および関節包切開術後患者の満足度について. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

【ポスター】

坪井純子, 廣田正博, 石川健二, 村西壽祥: 精神科病院での高齢入院患者における体力測定-作業療法参加回数をもとに-. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017.9.22-24.

小藤定, 村西壽祥, 中野禎, 彼末将吾, 小倉亜弥子, 湯川晃矢, 上谷佑稀, 土井還, 間中智哉, 伊藤陽一: 三角筋の筋硬度測定における検者間信頼性の検討. 第14回肩の運動機能研究会, 東京, 2017.10.6-8.

■社会活動

【学会運営】

公益社団法人大阪府理学療法士会 理事.

公益社団法人日本理学療法士協会 代議員.

森藤 武

■論文

【原著】

Takeshi Morifuji, Hidetoshi Nakao, Takahiro Inaba, Kenji Kasubuchi, Masashi Hashimoto, Motoharu Kaneko: Side-to-side differences in range of motion, muscle strength, and medial elbow laxity in young baseball players with medial elbow injuries. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 2017, 6(4):233-239.

中尾英俊, 橋本雅至, 森藤武, 岡健司: 成長期スポーツ傷害の腰椎分離症と非特異的腰痛のX線による腰椎アラメントと可動性について. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:135-139.

■国内学会

【一般口演】

吉川まどか, 森藤武, 田中稔, 前重伯壮, 藤野英己: 大腿部の血流制限を伴う下腿三頭筋への電気刺激が骨格筋に与える肥大効果, 第52回日本理学療法学会大会, 千葉, 2017.5.12-14.

【ポスター】

田中稔, 森藤武, 吉川まどか, 藤野英己: 糖尿病性筋萎縮に対する血流制限下の電気刺激の予防効果, 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017.9.16-18.

中尾英俊, 濱田太朗, 木下和昭, 稲葉考洋, 森藤武, 橋本雅至, 大槻伸吾: 高校野球選手の腰痛症に対する体幹・股関節筋力トレーニングの効果について, 第72回日本体力医学会大会, 松山, 2017.9.16-18.

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第2学科, 2017年度.

【ボランティア活動】

第99回全国高等学校野球選手権大会 メディカルサポート 統括責任者. 阪神甲子園球場, 2017年度.

第89回選抜高等学校野球大会メディカルサポート. 阪神甲子園球場, 2017年度.

■公開講座

【学会運営】

社団法人アスリートケアが開催するワークショップの企画運営に従事. 2017年度.

公益社団法人大阪府理学療法士会 泉州ブロック学術局 協力員. 2017年度.

第30回大阪府理学療法学会 広報・渉外局 局長. 2017年度.

■研究助成

森藤武(代表), 藤野英己, 田坂厚志, 田中稔: 糖尿病性微小血管障害に対する電気刺激・低酸素刺激の併用療法の開発. 科学研究費補助金 基盤研究(C), 2015.4-2018.3.

森藤武(代表), 橋本雅至, 中尾英俊: ストレッチングが運動習慣のない骨関節疾患を有する高齢者の動脈ステイップネスに及ぼす影響. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

<作業療法学専攻>

石川 健二

■論文

【原著】

石川健二, 高橋泰子: J-ADNI 鑑別基準における聴性事象関連電位 P300 による MCI の同定～神経心理学的視点から MCI を捉える～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:41-48.

高橋泰子, 石川健二, 木村秀生, 亀井一郎: 注意課題の脳波特性 θ / β 比からみた定型閾値の有用性と PASAT の正答率からの検証. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:99-106.

【報告】

石川健二, 高橋泰子: 記憶過程における脳波特性 (その1) ～ θ / α からみた記憶との関係～. リハビリテーション教育研究 2017, 22:44-45.

高橋泰子, 石川健二: 記憶過程における脳波特性 (その2) - 漢字課題でみる長期記憶への方略-. リハビリテーション教育研究 2017, 22:46-47.

■国内学会

【一般口演】

石川健二, 高橋泰子: アパシーが軽度認知症 (MCI) に及ぼす影響 - 事象関連電位によるアパシーの同定-. 第22回日本神経精神医学会, 東京, 2017.10.14-15.

【ポスター】

高橋泰子, 石川健二: 漢字の記憶過程と方略が脳波に与える影響. 第28回日本発達心理学会, 広島, 2017.3.25-27.

石川健二, 高橋泰子: 性格特性とストレス要因の関連 - TEG における臨床実習前後の比較-. 第30回教育研究大会・教員研修会, 新潟, 2017.8.31-9.1.

坪井純子, 廣田正博, 石川健二, 村西壽祥: 精神科病院での高齢入院患者における体力測定 - 作業療法参加回数をもとに-. 第51回日本作業療法学会, 東京, 2017.9.22-24.

■社会活動

【非常勤講師】

福祉用具学. 大阪府立大学, 2017年度前期.

【座長】

臨床での視点を研究につなげるデザインとは. 第11回日本作業療法研究学会学術大会, 大阪, 2017.6.3-4.

【学会運営】

第11回日本作業療法研究学会学術大会 運営委員.

一般社団法人 大阪府作業療法士会 学術部委員.

一般社団法人 日本作業療法士協会 学会演題査読委員.

【その他】

第12回「広げよう心のネットワーク」あすなろ作業所30周年記念イベントスタッフ, 貝塚市, 2017.11.

貝塚市就労支援B型あすなろ作業所 運営委員.

岡田 守弘

■社会活動

【医学研究費審査員】

Health and Medical Research Fund, the Food and Health Bureau, Hong Kong special administrative region.

■その他

和歌山県立医科大学付属病院 非常勤医師.

上島 健

■論文

【原著】

上島健：臨床実習における自己評価の違い～本学作業療法学専攻学生の3年次、4年次実習における調査～. 大
阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:107-118.

【報告】

平本憲二, 上島健, 谷口英治：本学で実施した精神科領域のOSCEにおける一考察. リハビリテーション教育研
究 2017, 22:92-93.

■国内学会

【ポスター】

上島健, 平本憲二：臨床実習における実習生の自己評価に関する分析 – 適正, 評価, 記録に関する相関につい
て-. 第51回日本作業療法学会, 東京国際フォーラム, 2017.9.22-24.

平本憲二, 上島健, 馬屋原邦博, 谷口英治, 広川隼也：母親からみた中等度知的障害者のPersonalization. 第51回
日本作業療法学会, 東京国際フォーラム, 2017.9.22-24.

■社会活動

【講師】

介護職員初任者研修課程講師. 大阪府立貝塚高等学校, 2017.8.5.

尼崎市住宅改造助成事業講師. 尼崎市, 2017.4.1-2018.3.31.

【学会運営】

一般社団法人 大阪府作業療法士会 理事.

一般社団法人 日本作業療法士協会 代議員.

一般社団法人 日本作業療法士協会 第4期 学会演題審査委員.

【嘱託委員】

大阪市障がい支援区分認定審査会 役員.

大阪市障がい支援区分認定審査会 委員. 大阪市西淀川区役所, 2017.4.1-2019.3.31.

貝塚市介護認定審査会 委員. 貝塚市役所, 2017.4.1-2019.3.31.

■研究助成

上島健：住宅改造実施例における日常生活動作と浴槽の縁高さの関係に関する分析～住宅の所有形態の違いから
見た分析～. 大阪河崎リハビリテーション大学 学長裁量経費, 2017年度.

嶋野 広一

■国内学会

【一般口演】

福澤優, 長尾徹, 花房謙一, 嶋野広一, 古山茂樹: 車椅子 TUG 最速値と退院1か月後の FIM、FAI、LSA との関係. 第51回日本作業療法学会, 東京国際フォーラム, 2017.9.22-24.

■社会活動

【講師】

介護等実習. 帝塚山大学, 2017.4.28.

子育て支援室 陶芸教室. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.3.27.

■研究助成

嶋野広一 (代表), 長尾徹, 花房謙一, 福澤優, 古山茂樹: 介護老人保健施設入所者家族の面会頻度を増やす試み. 大阪河崎リハビリテーション大学 学長裁量経費, 2017.9.1-2018.3.31.

高野 珠栄子

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Fumie Tazaki, Kazuki Nomura, Taeko Takano, Masashi Hashimoto, Hiroshi Hashizume, Ichiro Kamei: Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women in Japan. *Clinical Interventions in Aging* 2017, 12:1451-1457.

■国内学会

【一般公演】

高野珠栄子, 田崎史江, 野口貴斗, 野村和樹, 中村美砂: 認知症予防プログラム確立の為の調査—認知機能と手指機能との関係性—. 第18回日本早期認知症学会学術大会, 東京, 2017.10.14-15.

【ポスター】

田崎史江, 野村和樹, 高野珠栄子, 中村美砂: 地域在住高齢者の園芸習慣と体組成や認知機能の傾向: 人間・植物関係学会 2017年大会, 秋田, 2017.6.24-25.

中村美砂, 田崎史江, 高野珠栄子, 野村和樹: 地域在住高齢者の認知機能とロコモティブシンドロームとの関係. 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

■社会活動

【その他】

認知症予防プログラム スタッフ.

■研究助成

田崎史江 (代表), 亀井一郎, 中村美砂, 橋本雅至, 野村和樹, 高野珠栄子: 地域在住高齢者を対象とした認知症予防法の確立を目指した調査研究—認知機能と身体機能および生活習慣の関連性に着目して—. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

武井 麻喜

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーション論. 河崎会看護専門学校看護第1学科2年生, 2017.7-9.

大阪府立藤井寺支援学校 福祉医療関係人材活用事業作業療法分野 特別非常勤講師. 2017年度.

田崎 史江

■論文

【原著】

Kazue Tazaki, Atsuko Fukuyama, Fumie Tazaki, Teruaki Takehara, Keiichi Nakamura, Masayuki Okuno, Yumiko Hashida, Shozo Hashida : Electron Microscopy Observation of Biomineralization within Wood Tissues of Kurogaki. Minerals 2017, 7(7):123;doi:10.3390/min7070123.

Misa Nakamura, Fumie Tazaki, Kazuki Nomura, Taeko Takano, Masashi Hashimoto, Hiroshi Hashizume, Ichiro Kamei : Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women in Japan. Clinical Interventions in Aging 2017, 12:1451-1457.

田崎和江, 竹原照明, 橋田由美子, 橋田省三, 中村圭一, 横山明彦, 青木小波, 田崎史江 : 希少銘木「黒柿」の物理化学的特徴と生態鉱物化作用, 地球科学 2017, 71(3):97-113.

久利彩子, 竹内直子, 田崎史江 : 片手への荷重負荷による足圧中心の位置変位について. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:119-124.

■国内学会

【一般公演】

高野珠栄子, 田崎史江, 野口貴斗, 野村和樹, 中村美砂 : 認知症予防プログラム確立の為の調査—認知機能と手指機能との関係性—. 第18回日本早期認知症学会学術大会, 東京, 2017.10.14-15.

田崎和江, 福山厚子, 田崎史江, 新宅義昭, 新宅睦子, 片山和哉, 中村圭一, 竹原照明, 桂 嘉志浩, 嶋田敬介 : ナホトカ号重油流出事故から20年, どのように変化したか? 第27回社会地質学会, 東京, 2017.12.1-2.

【ポスター】

田崎史江, 野村和樹, 高野珠栄子, 中村美砂 : 地域在住高齢者の園芸習慣と体組成や認知機能の傾向 : 人間・植物関係学会 2017年大会, 秋田, 2017.6.24-25.

中村美砂, 田崎史江, 高野珠栄子, 野村和樹 : 地域在住高齢者の認知機能とロコモティブシンドロームとの関係. 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

■社会活動

【講師】

認知機能評価法・実技. つげさん認知症予防スタッフ養成講座 2017, 貝塚市福祉センター, 2017.9.21.

【公開講座主催】

第3回園芸療法ブラッシュアップセミナー. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.5.20.

第5回園芸福祉・園芸療法実践勉強会. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.10.7.

【学会運営】

人間・植物関係学会 会計監査. 2015.6-2019.3.

【その他】

認知症予防プログラム スタッフ.

■研究助成

田崎史江（代表），亀井一郎，中村美砂，橋本雅至，野村和樹，高野珠栄子：地域在住高齢者を対象とした認知症予防法の確立を目指した調査研究－認知機能と身体機能および生活習慣の関連性に着目して－. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費，2017.4-2018.3.

芦塚あおい（代表），田崎史江：神経心理学手法を用いた認知症における抽象語理解についての検討. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費，2017.4-2018.3.

谷口 英治

■論文

【報告】

平本憲二，上島健，谷口英治：本学で実施した精神科領域の OSCE における一考察. リハビリテーション教育研究 2017, 22:92-93.

■国内学会

【ポスター】

平本憲二，上島健，馬屋原邦博，谷口英治，広川隼也：母親からみた中等度知的障害者の Personalization. 第 51 回日本作業療法学会，東京国際フォーラム，2017.9.22-24.

中裕 俊介

■勉強会

精神科部門作業活動分析 作業活動研究会. 大阪河崎リハビリテーション大学，2017 年度毎月第 4 木曜日.

■社会活動

【非常勤講師】

情報科学. 河崎会看護専門学校看護第 1 学科 1 年生，2017.9-11.

情報科学. 河崎会看護専門学校看護第 2 学科 3 年生，2017.4-7.

スポーツ健康科学. 河崎会看護専門学校看護第 2 学科 1 年生，2017.10-12.

平本 憲二

■論文

【短報】

平本憲二，馬屋原邦博：知的障がい者のパーソナライゼーション —Herbert C. Gunzburg の援助理念—. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:141-148.

【報告】

平本憲二，上島健，谷口英治：本学で実施した精神科領域の OSCE における一考察. リハビリテーション教育研究 2017, 22:92-93.

■国内学会

【ポスター】

上島健, 平本憲二: 臨床実習における実習生の自己評価に関する分析 ―適正, 評価, 記録に関する相関について―. 第51回日本作業療法学会, 東京国際フォーラム, 2017.9.22-24.

平本憲二, 上島健, 馬屋原邦博, 谷口英治, 広川隼也: 母親からみた中等度知的障害者の Personalization. 第51回日本作業療法学会, 東京国際フォーラム, 2017.9.22-24.

■社会活動

【非常勤講師】

精神医学. 倉敷リハビリテーション学院 理学療法学科, 2017.8.

【公開講座主催】

子育て支援室 陶芸教室. 大阪河崎リハビリテーション大学, 2017.3.27.

【学会運営】

一般社団法人 大阪府作業療法士会 広報部員.

【その他】

大阪府内特別支援学校（高等部）における助言・指導 作業療法士としての協力依頼. 大阪府立泉南支援学校, 2017.2.

水野 貴子

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校看護第2学科2年生, 2017.11.

【嘱託委員】

阪南市泉南市岬町障害支援区分認定審査委員.

<言語聴覚学専攻>

芦塚 あおい

■論文

【報告】

芦塚あおい: 意味性認知症2例における環境音課題を用いた意味記憶障害の検討. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:53-58.

■研究助成

芦塚あおい (代表), 田崎史江: 神経心理学手法を用いた認知症における抽象語理解についての検討. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.

雨宮 徹

■社会活動

【非常勤講師】

哲学. 河崎会看護専門学校第2学科, 2017.4-7.

倫理学概論I. 近畿大学, 2017.4-7.

倫理学概論 II. 近畿大学, 2017.9-2017.12.

哲学概論 I. 近畿大学, 2017.4-7.

哲学概論 II. 近畿大学, 2017.9-12.

【学会運営】

フランクル研究会事務局. I-site なんば, 2017.1-12.

馬屋原 邦博

■論文

【短報】

平本憲二, 馬屋原邦博: 知的障がい者のパーソナライゼーション —Herbert C. Gunzburg の援助理念—. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:141-148.

■社会活動

【講師】

平成 28 年度東京都読話講習会, 東京聴覚障害者福祉事業協会, 東京聴覚障害者自立支援センター, 2017.2.

聴覚障害の基礎知識. 2017 年度手話通訳士受験講座, 東京聴覚障害者福祉事業協会, 東京手話通訳等派遣センター, 2017.8.26.

聞こえのしくみ. 小平市手話通訳者養成講習会中級クラス, 小平市福祉会館, 2017.8.24.

聞こえのしくみ. 武蔵村山市手話講習会上級クラス, 武蔵村山市身体障害者福祉センター, 2017.8.23.

聞こえと補聴器・人工内耳. 平成 29 年度東京都読話講習会, 東京聴覚障害者福祉事業協会, 東京手話通訳等派遣センター, 2017.8.21.

■その他

執筆協力: 特定非営利活動法人東京都中途失聴・難聴者協会読話テキスト編集委員会 (編) 『中途失聴者・難聴者のための読話テキスト～新しいコミュニケーションの世界へ～』, 特定非営利活動法人東京都中途失聴・難聴者協会, 2017.3.

木村 秀生

■論文

【原著】

高橋泰子, 石川健二, 木村秀生, 亀井一郎: 注意課題の脳波特性 θ / β 比からみた定型閾値の有用性と PASAT の正答率からの検証. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:99-106.

■講演会

【招待講演】

木村秀生: 障害児の安全な食事を続けるための支援について. 京都府摂食嚥下等障害対応支援事業 小児・障害児者リハビリテーション研修会, 京都府医師会館, 2017.9.11.

木村秀生: もぐもぐのはなし 障害乳幼児の摂食機能発達とその援助. 泉佐野市保健センター低出生体重児交流会 研修会, 泉佐野市保健センター, 2017.10. 5.

■社会活動

【非常勤講師】

京都教育大学 特別専攻科 非常勤講師 2017.4.9.

奈良教育大学教育学部 学校教育教員養成課程 非常勤講師. 2017.8.19-21.

京都医健専門学校 言語聴覚学科 非常勤講師 2017.9-12.

京都歯科医療技術専門学校 非常勤講師 2017.6.30.

大阪府立岸和田支援学校 福祉医療関係人材活用事業 特別非常勤講師, 2017年度.

大阪府立藤井寺支援学校 福祉医療関係人材活用事業 特別非常勤講師, 2017年度.

【学会運営】

京都府言語聴覚士会 副会長.

【公開講座主催】

京都府言語聴覚士会ことばのための発達心理学連続研修会「読み書き障害を考える」. 京都医健専門学校, 2017.2.27.

大阪河崎リハビリテーション大学 子育て支援室 平成28年度第2回公開講座「発達障害を地域みんなで考えよう～親も子どもも支援者も笑顔で～」2017.3.5.

大阪河崎リハビリテーション大学 子育て支援室「陶芸教室」2017.3.27.

【公開講座主催及び講師】

子ども達と一緒にコミュニケーションを楽しむために…。コミュニケーションロボットと子ども達の出会ってから見えてきたもの. 大阪河崎リハビリテーション大学 子育て支援室 平成29年度第1回公開講座, 2017.10.1.

【嘱託委員】

一般社団法人 日本リハビリテーション教育評価機構 評価認定委員.

京都府発達障害児者支援体制整備検討委員会 委員.

貝塚市立保健センター 市民健康推進事業 言語相談員.

社会福祉法人わらしべ会 評議員.

高橋 泰子

■論文

【原著】

石川健二, 高橋泰子: J-ADNI 鑑別基準における聴性事象関連電位 P300 による MCI の同定～神経心理学的視点から MCI を捉える～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:41-48.

高橋泰子, 石川健二, 木村秀生, 亀井一郎: 注意課題の脳波特性 θ / β 比からみた定型閾値の有用性と PASAT の正答率からの検証. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2017, 11:99-106.

【解説】

高橋泰子: NICU 卒業生を支える・つなぐ もっと知りたい! フォローアップ (vol.13) 学校や幼稚園で豊かなことばを育むために. Neonatal Care 2017, 30(6):82-85.

【報告】

石川健二, 高橋泰子: 記憶過程における脳波特性 (その1) ～ θ / α からみた記憶との関係～. リハビリテーション教育研究 2017, 22:44-45.

高橋泰子, 石川健二: 記憶過程における脳波特性 (その2) - 漢字課題でみる長期記憶への方略 -. リハビリテー

ション教育研究 2017, 22:46-47.

■国内学会

【一般口演】

石川健二, 高橋泰子: アパシーが軽度認知症 (MCI) に及ぼす影響 - 事象関連電位によるアパシーの同定 - . 第 22 回日本神経精神医学会, 東京, 2017.10.14-15.

【ポスター】

高橋泰子, 石川健二: 漢字の記憶過程と方略が脳波に与える影響. 第 28 回日本発達心理学会, 広島, 2017.3.25-27.

石川健二, 高橋泰子: 性格特性とストレス要因の関連 - TEG における臨床実習前後の比較 - . 第 30 回教育研究大会・教員研修会, 新潟, 2017.8.31-9.1.

■勉強会

【招待講演】

高橋泰子: 読み書き障害のある子どもへのアプローチ. 平成 29 年度特別支援教育推進事業. 支援学校センター的機能 (自立活動アドバイザー派遣) 活用公開研修, 堺市, 2017.8.7.

■社会活動

【非常勤講師】

発達障害アセスメント. 和歌山大学専攻科特別支援教育コーディネーターコース, 和歌山大学, 2017.8.9月.

【講師】

吃音児の理解とアプローチ. 泉南郡熊取町立熊取北小学校教職員研修 泉南郡熊取町立熊取北小学校, 2017.7.26.

【座長】

日本コミュニケーション障害学会, 言語発達遅滞分科会, 愛知, 2017.7.8-9.

【嘱託委員】

特別支援教育会議委員. 大阪府豊能町教育委員会, 2017.4-2018.3.

泉大津市平成 29 年度行財政改革推進本部施策評価部会 施策評価委員. 泉大津市役所, 2017.8.

巡回相談員・専門支援員. 小学校・中学校における子どもの言語指導および教員への指導. 大阪府豊能町教育委員会, 2017.4-2018.3.

巡回相談員・専門支援員. 小学校・中学校における子どもの言語指導および教員への指導. 大阪府池田市教育委員会, 2017.4-2018.3.

自立活動アドバイザー 小学校・中学校・特別支援学校における子どもの言語指導および教員への指導. 大阪府堺市教育委員会, 2017.4-2018.3.

【その他】

臨床発達心理士資格取得のためのスーパーバイザー 日本発達心理学会.

■研究助成

高橋泰子: 認知症の語用論的課題 - 視線解析における社会的認知の評価 - . 大阪河崎リハビリテーション大学学長裁量経費, 2017 年度.

野村 和樹

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Fumie Tazaki, Kazuki Nomura, Taeko Takano, Masashi Hashimoto, Hiroshi Hashizume, Ichiro Kamei : Cognitive impairment associated with locomotive syndrome in community-dwelling elderly women in Japan. *Clinical Interventions in Aging* 2017, 12:1451-1457.

■国内学会

【一般公演】

高野珠栄子, 田崎史江, 野口貴斗, 野村和樹, 中村美砂 : 認知症予防プログラム確立の為の調査—認知機能と手指機能との関係性— 第18回日本早期認知症学会学術大会, 東京, 2017.10.14-15.

【ポスター】

田崎史江, 野村和樹, 高野珠栄子, 中村美砂 : 地域在住高齢者の園芸習慣と体組成や認知機能の傾向 : 人間・植物関係学会 2017年大会, 秋田, 2017.6.24-25.

中村美砂, 田崎史江, 高野珠栄子, 野村和樹 : 地域在住高齢者の認知機能とロコモティブシンドロームとの関係 . 第24回日本未病システム学会, 横浜, 2017.11.4-5.

■社会活動

【非常勤講師】

社会と制度の理解Ⅰ,Ⅱ. 箕面福祉保育専門学校 介護福祉科1年生, 2017年度.

社会福祉学. 箕面福祉保育専門学校 保育科1年生, 2017.3-9.

相談援助. 箕面福祉保育専門学校 保育科1年生, 2017.10-2018.3.

【嘱託委員】

貝塚市社会教育委員 . 2017.6-2019.5.

【その他】

認知症予防プログラム スタッフ .

■研究助成

田崎史江 (代表), 亀井一郎, 中村美砂, 橋本雅至, 野村和樹, 高野珠栄子 : 地域在住高齢者を対象とした認知症予防法の確立を目指した調査研究—認知機能と身体機能および生活習慣の関連性に着目して—. 大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費, 2017.4-2018.3.